

報道関係者各位
プレスリリース

大成ファインケミカル(株)

紫外線硬化型アクリルポリマー 『8KXシリーズ』

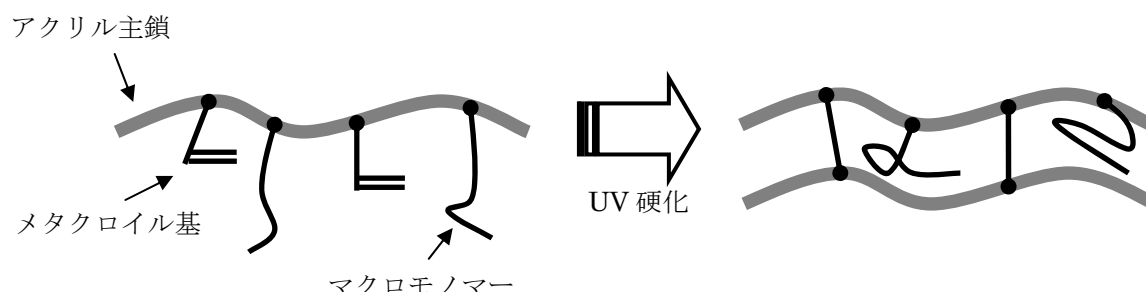
～新素材開発による機能性ハードコート材の実現～

9月1日よりサンプル出荷開始

大成ファインケミカル株式会社(千葉県旭市鎌数 9163-19)は、アクリルポリマー側鎖にメタクロイル基を導入し、マクロモノマーを共重合させた、紫外線硬化型アクリルポリマー『8KXシリーズ』を新開発し、2009年9月1日より販売展開及びサンプル提供を開始することを発表した。

昨今、多用途に渡り高成長を遂げている紫外線硬化型樹脂は、光学ディスプレイ・フィルムといったエレクトロニクス分野においても、ハードコート材料として様々な機能性を求められている。光学用途では、特に透明性と硬度において高い性能を要求され、現在ではアクリレート系モノマー・オリゴマーが材料設計の軸として多くに用いられている。

しかし、アクリレート系オリゴマーは各種材料との相溶性が悪く、また硬化による収縮が大きい為基材への密着不良及び反り変形を引き起こしてしまう。また、モノマーについては材料としての皮膚刺激性が懸念されるという課題があった。



本製品シリーズは、これまでの紫外線硬化型アクリルポリマー側鎖にマクロモノマーを共重合させたことにより、各種オリゴマーとの相溶性、塗膜硬度(鉛筆硬度:H~2H)及び可撓性(伸び率:30~40%)において優れた性能を発揮する。これらの性能から、本製品シリーズをハードコート材料設計に組み込むことで、塗膜硬度を損なわずして硬化収縮によるフィルム基材等の密着性改良及び反り変形の低減が実現できる。また、全てポリマーでの設計であることから、材料として低皮膚刺激性である。加えて、乾燥後塗膜がタックフリーとなることで、コーティングと紫外線硬化の工程を分離することが可能であり、製造工程適性という点においても幅広い適用が可能となる。

同社では、顧客の用途や要望に合わせた幅広い材料設計に対応できるよう、ポリマーの二重結合当量(メタクロイル基一個あたりの分子量)を調整した製品ラインナップを取り揃えており、さらなる材料カスタマイズを請け負う研究体制も整っている。同社は本製品シリーズと独自の樹脂設計技術により、市場拡大を続ける電子材料分野のみならず、塗料・プラスチック表面コーティング剤等の幅広い分野に対応することで、2012年には紫外線硬化型アクリルポリマーとして売上高5億円の販売を目指している。

本報道用資料に関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

大成ファインケミカル株式会社

営業グループ 川崎裕樹

営業所 〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩 3-5-1

TEL:03-3691-3111

FAX:03-3691-3160

E-MAIL: info@taisei-fc.co.jp

URL: <http://www.taisei-fc.co.jp/>